

各地方運輸局 総務部長 殿
神戸運輸監理部 総務企画部長 殿
内閣府 沖縄総合事務局 運輸部長 殿

大臣官房参事官（運輸安全防災）

台風第6号に備えた体制の確保等について

気象庁によると、大型で強い台風第6号は日本の南にあって北上しており、今後非常に強い勢力となり、進路を北西に変えて、8月3日にかけて沖縄地方や奄美地方にかなり接近し、その後、台風は東シナ海で動きがゆっくりとなる見込みです。

台風の接近に伴い、沖縄地方や奄美地方では暴風となり、沖縄地方では、1日から2日にかけて、一部の住家が倒壊するおそれのある猛烈な風が吹き、猛烈にしけとなり、奄美地方でも非常に強い風が吹き、猛烈なしけとなる見込みです。

また、台風の接近と大潮の時期が重なるため、沖縄地方や奄美地方では潮位が高くなり、特に、沖縄本島地方では1日にかけて、高潮や高潮と重なりあった波浪による浸水害が発生するおそれがあります。

さらに、台風本体や台風周辺の発達した雨雲により、沖縄地方や奄美地方では雷を伴った非常に激しい雨が降り、3日にかけて大雨となる見込みです。

これにより、沖縄地方では、暴風、高潮や高潮と重なりあった波浪による浸水に厳重な警戒が必要です。また、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒、落雷や竜巻などの激しい突風に注意が必要です。加えて、沖縄地方や奄美地方では、うねりを伴った高波に厳重な警戒が必要です。

これを受けて、本日（7月31日）、政府において関係省庁災害警戒会議が開催されます。この会議以降、被害状況等のとりまとめや省災害対策本部会議開催の可能性がありますので、特に下記の点に注意の上、万全の対応をお願いします。支局等においても同様に対応できるよう周知徹底してください。

また、自治体や地方関係機関との情報連携に努めていただき、災害初動対応に遅れが発生することがないように体制の確立にご留意いただくようお願いいたします。

記

1. 事業者等に対する注意喚起
2. 事業者等に対する運行計画変更のHP等による利用者への周知徹底
3. 運輸事業団体・運輸事業者との情報連絡体制の確保
4. 気象台、地方整備局と連携・協力したプッシュ型の支援対応の実施
5. 早期の体制の発令、局内の連絡・災害対応体制の確認
6. 速やかな TEC-FORCE・リエゾンの派遣
7. 被害状況等のとりまとめ及び災害対策本部会議時の対応（テレビ会議等）の準備